

# 月刊事業構想に取材記事掲載、EVI環境マッチングイベント2016より

## 2016年12月1日発行月刊事業構想1月号



事業構想大学院大学発行の月刊事業構想1月号に今年開催されたEVI環境マッチングイベント2016より基調講演の多彩なプログラムやイベント終了後の加藤への取材記事が6ページにわたって掲載。パリ協定以降の環境への取り組みについて深く切り込んだ内容になっていますので、ぜひご覧ください。

企業活性、地方創生、イノベーション  
月刊 **事業構想**  
PROJECT DESIGN  
再生医療 健康IoT-シェアリング 食生活の新サービスが登場!  
専門外で成功する**ペット産業**  
東洋人 地域に広がる酒ビジネス 中国、韓国、観光企画の作り方



### 「脱炭素化」から「脱炭素化」の推進へ

## 地球規模のピンチをチャンスに

人類史上最大の環境的危機を、チャンスと捉えている。地球規模のピンチをチャンスと捉えている。地球規模のピンチをチャンスと捉えている。

「脱炭素化」から「脱炭素化」の推進へ... 地球規模のピンチをチャンスに... 人類史上最大の環境的危機を、チャンスと捉えている。

### 「脱炭素化」から「脱炭素化」の推進へ

## 地球規模のピンチをチャンスに

人類史上最大の環境的危機を、チャンスと捉えている。地球規模のピンチをチャンスと捉えている。地球規模のピンチをチャンスと捉えている。

「脱炭素化」から「脱炭素化」の推進へ... 地球規模のピンチをチャンスに... 人類史上最大の環境的危機を、チャンスと捉えている。

### 特別企画 環境の課題解決は、21世紀型の事業構想につながる

## カルネコ —消費者、投資家の視点の変化

# 待ったなしの環境貢献事業

パリ協定で気候変動への対策が進む。CO<sub>2</sub>排出量の削減をカーボン・オフセットで進めるEVIは、企業、自治体、消費者全てが、身近に環境貢献できるプラットフォームを作る。  
「環境貢献」は投資の判断でも重要な位置づけで、事業展開においても欠かせない視点だ。

「環境貢献」は投資の判断でも重要な位置づけで、事業展開においても欠かせない視点だ。

### 森林管理の負の循環を解決する2つの方法

日本の木材自給率は、2009年に27.8%まで落ち込んだ。2009年12月には林野庁が「10年後の木材自給率50%以上」を目指すべく変換として、「森林・林業再生プラン」を策定した。プランでは、①適切な森林経営が確保される仕組みの整備、②広範に低コスト作業システムを確立する条件整備、③担い手となる林業事業者や人材の育成、④国産材の効率的な加工・流通体制の整備と木材利用の拡大という4つの改革を提言し、具体策に移していった。その結果、木材自給率は、2011年から5年連続で上昇し、2015年には33.3%まで回復した。しかし、以前として約67%は輸入材で、輸入中心の現状だ。

「今できる解決策は2つあります。1つは、木材を利用し、売上としてのお金を森林業者に回すことです。ノルディックなど小さい商品であれば間伐材を利用することもできます。2つ目は、カーボン・オフセットの考えです。木材を利用できなくても、クレジットを購入することで森を守る資金を確実に届けることができます」

「日本の森を守る活動は、ポツンアアや密閉の資金によるところが大きく、活動自体の持続可能性が低いことが課題です。そこで、普段の買い物を通じ

### 環境の課題解決は、21世紀型の事業構想につながる

環境の課題解決は、21世紀型の事業構想につながる。環境の課題解決は、21世紀型の事業構想につながる。

### EVIが環境貢献を通じて、あなたの町の地域活性をお手伝いいたします。

環境の課題解決は、21世紀型の事業構想につながる。環境の課題解決は、21世紀型の事業構想につながる。